

第 17 回基準諮問会議

2013年3月11日、財務会計基準機構（FASF）において第17回基準諮問会議（議長 野崎邦夫 住友化学㈱常務執行役員）を開催し、審議が行われました。それぞれの詳細な内容については、財務会計基準機構ホームページ（<https://www.asb.or.jp/>）にて「議事概要」、「議事要旨」（会員限定）等を公開していますので、ご覧ください。

（審議事項）

1 テーマ提言について

(1) 第16回基準諮問会議における提案

前回（第16回）の基準諮問会議で寄せられていた新規テーマについて、「会計基準レベル」と「実務対応レベル」に分け、それぞれの対応について審議を行った。

① 会計基準レベル

「比較情報」については新規テーマとして企業会計基準委員会（ASBJ）に提言は行わないものの、今後のテーマ候補として保留し、適時にテーマ提言の要否を判断していくこととなった。

② 実務対応レベル

「実務対応報告第18号の見直し」及び「連結納税制度と企業結合の税効果会計」については、ASBJに新規テーマとして提言を行うこととなった。また、「繰延税金資産の回収可能性」についてはさらに議論を深めていくこと、「早期割増退職金の会計処理」については今回の基準諮問会議に実務対応レベルの新規テーマとして寄せられた、リストラクチャリングの会計処理と合わせて検討するため、次回以降の基準諮問会議で継続して審議することとなった。

なお、「種類株式の会計処理」、「現物分配の会計処理」及び「契約に含まれるリース取引」については、会計基準レベルのテーマと同様、保留するテーマとして取り扱い、今後適時にテーマ提言の要否を判断していくこととなった。

(2) 第17回基準諮問会議の提案

今回（第17回）の基準諮問会議で寄せられた新規テーマについて審議を行った。「会計基準レベル」のテーマとして新たに3件寄せられたが、連結の範囲の見直し等については、現在ASBJで審議中のテーマであるため、審議の参考としてもらうよう、ASBJに対して報告することとなった。なお、継続企業の前提が成立していない状況で適用する会計基準の開発については、次回以降の基準諮問会議で審議することとなった。

「実務対応レベル」については、新たに2件の新規テーマ（ポイント引当金及びリストラクチャリングの会計処理）が寄せられたが、実務対応専門委員会へ新規テーマの評価を依頼することと

なった。

2 企業会計基準委員会の最近の活動状況について

小賀坂 ASBJ 主席研究員（当時）より、ASBJ の最近の活動状況についての報告が行われ、企業結合会計に関して意見交換が行われた。